

9月4日

テーマ：「イエスさまの家族」

聖書箇所：マタイ12章46節～50節

◆今日のみことば

天におられるわたしの父のみこころを行なう者はだれでも、わたしの兄弟、姉妹、また母なのです。
マタイ12章50節

◆メッセージ

今日のテーマは「家族」です。救い主としてお生まれくださったイエスさまにも、家族がいました。それが、ヨセフさんとマリヤさん、そして兄弟姉妹でした。きっと温かな家庭であったのでしょね。しかし、今日の箇所では少し様子が違っています。神さまのことを多くの人々に伝えていたイエスさまのところへ、お母さんであったマリヤや兄弟たちがやってきました。神さまのことを伝えるのをやめさせようとして、イエスさまのところへやって来たのです。同じことが書かれているマルコ3章を見ますと、人々はイエスさまが悪霊につかれていると言って、やめさせるように家族に話したのだと思います。

そこでイエスさまは言われました。「天におられるわたしの父のみこころを行なう者はだれでも、わたしの兄弟、姉妹、また母なのです。」イエスさまはご自分の家族を愛していました。でもそれ以上に神さまを愛し、神さまの教えに従って歩む人々を愛していたのです。なぜなら、神のみこころに従う人々こそがイエスさまの家族とされるからです。

私たちは当たり前のように家族は「ある」ものだと思っています。しかし、今の世の中、その家族が壊れ、毎日のように悲しいニュースを私たちは聞いています。でもそのような私たちに聖書は、イエスさまを信じ、罪を悔い改め、赦された者は神の子とされると約束しています。そしてその父である神の言葉を聞き、従うものが神の家族となるのです。家族は「ある」ものではなく、「なる」ものなのです。

イエスさまの家族の一員となる、何と素晴らしいことでしょう。ルカ15章にあります放蕩息子のたとえの中では、放蕩の限りを尽くした息子を、雇い人の一人にしてくださいといった息子を、大切な家族、息子として迎え入れてくださった父の愛があらわされています。同じように罪深い、愚かな私たちも、その父の愛によって家族として迎え入れていただくことができます。

家族の一員として、その愛に富んだ父のもとで、御言葉の内に、どのように歩んでいけば良いのか教えていただき、歩むことが出来ることは本当にうれしいことですね。神の家族として、喜んで御言葉に従っていきましょう。



◆お祈り

「神さま、神の家族の一員として、喜んで御言葉に従うものとさせてください。」

(衣笠中央キリスト教会牧師 三浦峰人)